

e-ビーフNEWS 北の牧場から

May 2020

月刊情報誌

No.77

発行

特定NPO環境リサイクル肉牛協議会
〒080-0047
北海道帯広市西17条北2丁目44-10
TEL/FAX 0155-66-5159

十勝の緑

コロナ禍でうずくまる社会、止まる社会。息が詰まりそうですね。今まで動いていた社会がこんな状態になると誰が予想できただしようか?

十勝の春はやっと近づいてきました。フクジュソウも道端の枯草の間から顔を出し、採る間もなく茎が伸びてしまいました。その黄土色の枯草からもいつの間にか、緑っぽく変わって、それがだんだん濃くなってきています。畑では真っ先に目につくのは、秋まき小麦の新緑。線状に撒かれた小麦が一冬雪の下で耐え、雪解けとともに一緒に伸ばし始めています。この緑が十勝のパッチワークとして色を添えます。その畑に北に飛び立つ白鳥の群れが羽を休め、白く点々が広がっています。鳥たちが春の来訪を朝焼けとともに、けたたましく告げに来ます。

畑作業が始まりました。作業機を付けたトラクターがそこいらじゅうで働いています。はらんだ親牛の出産が始まり、子牛たちの誕生です。やっと長い冬から北海道が始動し始めました。



活動のお知らせ

全ての会議等は中止または日程決まらずの延期になっています。
環境リサイクル肉牛協議会の総会は書面決裁で予定します。

NEWSばかり読み

- 農林水産省 補助金をネット申請導入へ4/2:電子化が進む
- 政府 輸出本部を設置 海外販路の確保へ4/2:今はストップ
- 日銀短観 7年ぶりにマイナス 観光飲食が深刻4/2:やっと実態反映
- インド 新型コロナ対応で経済ストップ 大気汚染が改善
4/3:自然の原理
- 食料生産国 新型コロナの拡大で自国優先 輸出制限に動く
4/3:食糧安保
- 政府 中小企業に無利子融資、普及金を4/4:急げるかな
- 和牛枝肉相場が急落 過去5年で最安値4/4:ついに
- 3月のアパレル、外食が4割減と大幅減収4/5:一段と
- 滋賀県 2020年産米からオーガニック米の産地化に乗り出す
4/6:地域全体で
- 中国マスク外交拡大 世界120か国4/6:ピンチがチャンスですか
- 政府 緊急事態宣言 7都府県で発布4/7:時差
- 緊急事態宣言の食糧供給に問題なく家庭需要高まる
4/9:農家に発揮が試される
- 花き相場 暴落 過去5年で最安値4/9:花の無い社会はないよ
- コロナ禍不況鮮明 飲食宿泊中小倒産相次ぐ4/9:速い
- メニコン(コンタクトレンズ大手)メタン排出削減牛飼料開発
4/9:異業種も健闘
- 新型コロナ対策で学給食の国産利用促進で差額補助
4/11:この機会に
- コロナ禍で各国食糧確保に奔走輸出制限に危機感
4/11:食糧生産の基本觀必要
- フランス コロナ禍で失業20万人 農業労働者に応募
4/11:労働の移動
- コロナ禍でスーパー売り上げ急増 食品伸びる4/11:家庭内食拡大
- コロナ禍で外食自粛が経営を直撃 テイクアウトで落込み軽減
4/14:アイディアと努力に敬服
- 牛マルキン 29道県で発動4/11:金額拡大

- 植物検疫統計 中国野菜の輸入昨対下回る 外食需要の落ち込み
4/14:この分どこに
- 厚労省 食品産地表示を弾力運用拡大 安定供給確保優先
4/14:運用可能なんだ
- 農林水産省 外国人実習生来日せずで労賃時給500円上乗せ補助
4/15:継続したら
- 農林水産省 17年度の食品ロス5%減 納品期限緩和が効果
4/15:これで
- 環境庁 18年度温室ガス3.9%減5年連続4/15:原発なくても進む
- 緊急事態宣言 全国に拡大4/17:ついに
- 農林水産省 和牛肉在庫滞留に即ち補助金 初年度kg1000円
4/17:で動くか
- 東京食肉市場 内臓価格を約半分に引き下げ4/17:焼肉屋深刻
- 宮城県 牛のフレーズドライ精子で出産4/18:保管に画期的技術
- 農林水産省 生乳の家庭消費拡大にメーカー支援策
4/21:廃乳させるな
- 兵庫県 県産ブランド消費に喚起対策神戸ビーフ券1000円配布
4/21:産地真剣
- アイリスオーヤマ 国産原料のマスク国内生産で政府補助第1号
4/22:継続
- NY原油先物市場下げ止まらず 金融界に動搖4/22:すべてに回らず
- 消毒用アルコールに代替酒続々誕生 厚労省・総務省が融通対応
4/22:なにができるか
- WFP(世界食糧計画)コロナ禍で食糧不足人口が倍増
4/23:弱いところから
- 政府景気判断を11年ぶりに「悪化」リーマン以来4/24:それ以上だよ
- ハクサイ急騰 免疫力高める発酵食品キムチで需要高まる
4/25:乳酸菌
- 欧米農業 出稼ぎ確保に苦労4/27:止まると全てが
- 世界の食糧輸出大国ロシアで小麦輸出制限4/27:始まった
- 3月輸出額10%減 牛肉、日本酒がコロナ禍直撃4/29

東京直近NEWS

(4/30 Shi-REPORT)

ホルス

相場は下げ基調。新型コロナ影響で量販スーパー用需要で切落しに引合は非常に強い。しかし、外食関係が休業自粛により上位部位パート、冷凍アイテムの需要が激減。特に上位部位の販売が完全に止まっており在庫過多の状況。上位部位パートの価格評価つかず、収益的にも厳しい状況。自粛の長期化から節約志向はさらに加速しており、今後の目途もつかないことから、動物タンパクでも高価な牛肉需要は明るい兆しが少ない。

経産牛

経産牛相場は高値安定状況継続。出回り頭数にも増減あり相変わらず集荷も不透明。新型コロナ影響で外食全般減退により販売動向は苦戦模様。自粛影響と内食の伸長から安価な挽肉原料の引合は非常に強い。挽肉原料の問合せは急伸しているが、昨年からの原料事情から在庫も少ないベースで供給しており対応しきれない状況になりつつある。逆にパート関係は外食加工筋の停滞から在庫基調。特にロインの販売低迷が大きな課題。

左先生の畜産学研究NEWS

2020.4.29

新聞やTVでは連日新型コロナウイルス感染拡大と日本全国に及んだ緊急事態宣言の国民生活への影響を伝えています。e-BEEF Newsの情報源となっている肉牛関連学術研究集会なども全て中止となり、世界的大流行(パンデミック)は芸術のみならず学術研究活動にも影響を及ぼしました。緊急事態宣言が出されても感染拡大や医療崩壊は治まらず、国内感染者数は4/27現在1.4万人に迫っています。日本経済の沈下は深刻な状態でIMFの予測では日本全体の経済成長は-5.2%で、リーマンショック以来11年ぶりの低水準です。高値の続いた和牛の素牛価格も大幅に下落し、わが国の肉牛事情は内需・外需とともに厳しさに曝されています。何時まで緊急事態が続くのか、この先どうなるのかという不安が国民の間で広がっています。今後の国民生活や経済活動の展開が見通せない時にこそ「焼け野が原に花火より消火だ!」と言われないよう政治的先見性を發揮した采配を人々は願っています。e-BEEF News 77号の新着情報は1つだけです。

1. 畜産技術#778, 2020.4

1) 技術情報: 麦焼酎粕濃縮液の給与が黒毛和種子牛の成長、ルーメン発酵、血液成分及び胸最長筋の纖維型に及ぼす影響(鶴岡克彦: 大分県産科技セ)

水分90%とされる焼酎粕をスクリュープレスで水分65%の濃縮液にして黒毛和種育成牛でオーチャード乾草に5%, 15%混合して飼料効果を検討しました。3-9ヶ月齢の試験期間中の増体は15%混合で有意に増加し、骨格筋のI型とIIA筋径の増大とIIB型筋纖維の増加が発育促進に繋がったと思われました。

2) 海外情報2: 米国における食肉代替食品市場の現状(鈴木浩幸: 日本貿易振興機構)

米国の食肉代替食品についての事例です。1) 植物由来食肉様食

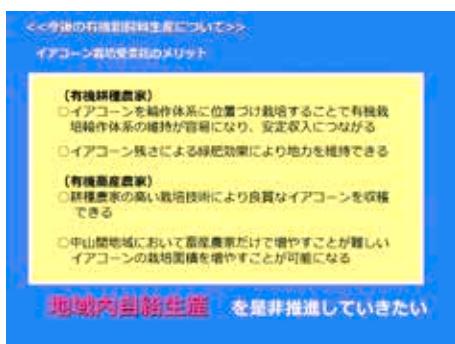
品(Plant-Based Meat) は豆類、キヌア、大豆等多様な原料に調味料で食肉の食感や風味を近づけた前号のフェイクミートの類で、ビヨンド・ミート社、バーガーキング社などがハンバーガーパティやソーセージを小売り展開しています。2) 細胞培養肉は前号でも触ましたが、牛などの筋肉組織を少量採取し、細胞培養で筋管細胞から筋組織の塊をハンバーガーパティにするもので、課題は製造コストでオランダのモサ・ミート社は112\$/kgを達成した模様です、環境に優しくクリーンで持続可能性のあることが主張されています。3) 代替タンパク質製品は昆虫由来タンパク質で加熱調理後の粉末加工製品で代替えタンパク質としては1)のPBM市場より小さい様です。これらの三つの背景にはベジタリアンやビーガンなど菜食主義者の増加や従来の畜産業の環境への影響を問題視する考え方もあり、北米食肉協会の反論もあります。大事なことは眞に健康によい食品かどうかという疑問に答えることです。

2. 「十牛図入門-新しい自分への道」横山紘一著 幻冬舎新書(GS) 2008年

「十牛図」とは逃げ出した牛を探し求める牧人が牛すなわち「眞の自己」を究明する心境を比喩的に十段階で示したもので、中国・北宋時代禅師の創案といわれ、禅の入門図としての価値で知られていますが人生の指南書としての意義もあると思います。「尋牛」「見跡」「見牛」「得牛」「牧牛」「騎牛帰家」「忘牛存人」「人牛俱忘」「返本還源」「入塵垂手」という十枚の図です。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2019

話題提供1.「有機畜産とICT活用 実践例」全5回シリーズ④ 有機酪農研究会 会長 石川賢一氏



転載・再利用は固くお断りします